

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		要介護度が高くなり、入浴などの介助が難しくなっており、湯船に入って頂かなく、シャワー浴が増えてきている。(経験の浅い職員や非力な職員)	職員の誰が入浴担当者でも、同じ支援が出来る。要介護度が高い入居者様でも、湯船にゆっくりつかって入浴できる。	ボディメカニクスを使ったトランスを体で覚えて頂く。外部研修に参加して頂く。勉強会やミーティング時に講習を行う。自信をもって出来るまでは無理せず二人介助にて、湯船につかって頂く。	12ヶ月
2		入居者様の何気ない言葉や表情から、職員が思いをくみ取ることが出来ない。入居者様本位の支援が出来ていない時がある。	入居者様の表情や会話などから、思いを汲み取り、穏やかに生活して頂ける様に支援出来る。	入居者様の、どのような所に注目しなければならないのか、また入居者様の思いを文章化する学習をする機会を設ける。ミーティングやカンファレンスの時に掘り下げて考える機会を作る。	12ヶ月
3		入居者様の何気ない言葉や表情から、職員が思いをくみ取ることが出来ない。入居者様本位の支援が出来ていない時がある。	入居者様の表情や会話などから、思いを汲み取り、カンファレンス・ミーティング・申し送り・介護記録を利用して全スタッフが入居者様の思いを知ることが出来る。	入居者様の、どのような所に注目しなければならないのか、また入居者様の思いを文章化する学習をする機会を設ける。ミーティングやカンファレンスの時に掘り下げて考える機会を作る。	12ヶ月
4		看取りが近いと思われる入居者様に対し、最後までその人らしい、穏やかな日々を送って頂くように支援できるか。	スタッフが介護に不安なく、従事出来るように、環境を整える。入居者様を悔いなく見送る事が出来る。	職員同士の連携の強化を図るために、スマートフォンを持っていたらライン、無い場合は通話やメールを使用し状況・状態を共有することが出来るようにする。何でも言い合える環境にする。(前向きな意見)今何が出来るか、出来る限りのことを行う。	3ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。